

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療・保健・福祉を推進します。

八幡青樹会病院 季刊広報誌

平成 19 年 10 月 1 日 発行

発行責任者 広報委員会

地域連携室

青葉の風

第 14 号

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

地球温暖化が気になる今年の猛暑、激暑の夏でしたが、皆さんはいかがお過ごしでしたでしょうか。
秋の恵みを感じながら今回もいろんな話題をお届けします。

軟式野球 2 大タイトルの全国大会に出場します 野球部監督 二国 和良



青樹会病院軟式野球部は、8 月に奈良県橿原市で行われました近畿代表決定戦で 1 位となり、9 月末から秋田県で開催されました第 62 回国民体育大会（わか杉国体）軟式野球一般 A に出場いたしました。

同じく 8 月に行われました天皇賜杯第 62 回全国大会滋賀県予選に優勝し、10 月 12 日（金）から大分県で行われる同全国大会に出場いたします。更に 11 月 10 日（土）から愛知県で開催される第 52 回中部都市対抗軟式野球大会には前年度優勝チームであることから出場が決定しております。軟式野球の 2 大タイトルとされる大会に、近畿代表として滋賀県代表として思い切りプレーできること輝かしい栄誉であります。また中部都市対抗野球大会には滋賀県代表として出場いたしますので、皆様の熱いご声援をよろしく願います。

ことしのてんびん祭りは 睦クラブ文化部 山下 満代

今年も病院職員で作る親睦会（睦クラブ）の文化部は八幡てんびん祭りに参加し、チャリティーバザーを行いました。今年の売上げ金もすべて、近隣の社会復帰施設に寄付させていただきました。バザー品を寄贈していただきました皆様、本当にありがとうございました。当日は炎天下の中でしたが、子供達から高齢の方々まで祭りにふさわしい楽しい一日を過ごすことができました。来年もぜひ参加したいと思います。

カフェド歩° 歩° が再開しました 庶務課 松川 賢



6 月からしばらく活動を休止していましたが病院の喫茶カフェド歩° 歩° は、職業リハビリテーション事業として、精神障害者の社会復帰をさらに支援する体制で 9 月より活動を再開しました。以前にもまして皆様のご利用をお待ちしております。

盛り上がった今年の盆踊り 作業療法室 川島 健

平成 19 年 8 月 9 日、病院駐車場において、納涼盆踊り大会が開催されました。音頭取りとして「臯月家志賀国会」御一行様をお迎えし、当院における夏の恒例行事として、盛り上げていただきました。当日は、入院患者様、外来患者様合わせて約 150 名の方が参加されました。又、地域住民の方の参加もあり、地域と患者様との交流の場として貴重な時間となりました。また、作業療法室では 11 月下旬に、文化祭・模擬店の開催を予定しております。当日は外来待合ホールに作品の展示を行いますので是非お越し下さい。



～ 園芸に参加して ～ (入院患者様より投稿いただきました)

園芸に参加して2年が過ぎました。7病棟に移り自分から看護師さんに園芸に参加させてくださいと、申し込みました。今、畑では菊の水やり草刈りが主な仕事となっております。水やりといっても400鉢もあるので二人で一時間半はたっぷりかかります。野球をやっていたため、夏の暑さは苦痛になりません。園芸といっても、色々な仕事があります。草むしり、菊の水やり、菊の鉢移し、野菜の種まきから成長するまでの管理、八幡山の落ち葉拾い(腐葉土作り)、土おこし、土の下ごしらえ等、数えたらきりがありません。自分が園芸に参加して一番の楽しみは、種をまいて水をやり植物が成長



することです。もうすぐ畑ではさつまいもの収穫があり、大根、ほうれん草、白菜、水菜の種まきがあり、今から成長が楽しみです。10月末には僕の育てた菊に花が咲き、中庭が満杯になります。とてもきれいですよ。皆さん楽しみにしておいてください。農園の橋の入口からでもかまいません。一度農園作業の現場を見てもらえたら幸いです。すずしくなってきたので仕事のピッチも上がっています。

こころのエッセイ・ ・ 書の道 臨床心理士 石橋 春乃

最近、趣味として書道を始めました。今年に入り、特にきっかけとなるようなこともなかったのですが、無性にやりたくなったのです。それで気持ちの赴くままに道具を一式買い揃え、書き始めました。教室に通ったりするでもなく、テキストのような物を使う訳でもなく、全くの我流です。墨の香り、筆の感触等がとても心地よく、また適度な集中力・緊張感・背筋がピンとする感じも気持ちが良いのです。書きたい言葉が次から次へと浮かんでいきますし、時間があっという間に過ぎてしまいます。

字にはその人の性格はもちろん、心の状態もハッキリと表れるものだなと感じます。落ち込んだりイライラしている時の字と、穏やかで前向きな時の字は全然違います。自分の作品を見返していてビックリすることもありますし、反省することもあります。

どちらかというといじくりと考えるから行動に移すタイプの私が、「無性にやりたくなって」「気持ちの赴くまま」に書道を始めたのは、やはり必然性があったのだろうと今は感じています。単純に好きとか楽しいとかいうことだけでなく、自己表現法としても癒しとしても、私に合っているのだと実感しています。ゆくゆくは何かおもてに出せるような作品を書きたいと思っている今日この頃です。

皆さまからのご意見、投稿など募集しております。詳しくは広報委員会までお尋ねください。

八幡青樹会病院 広報委員会(地域連携室内) 電話 0748-33-7104 FAX 0748-32-7725